

WEEKLY SIGNAL

2020年12月11日(金) 1554号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	12/14(月)	12/15(火)	12/16(水)	12/17(木)	12/18(金)
無担保O/N			△ 0.087%	～ 0.001%	
銀行券	△ 1,200	△ 2,000	△ 2,000	△ 3,000	△ 3,000
財政他	△ 13,200	+ 75,000	△ 38,000	+ 5,000	+ 18,000
資金需給	△ 14,400	+ 73,000	△ 40,000	+ 2,000	+ 15,000
主な要因	源泉税揚げ 国庫短期証券発行・償還(3M)	年金定時払い 国債発行・償還(個人)	国庫短期証券発行・償還(6M)		
オペ期日	CP等買入 補充供給 △ 700 + 200	貸出増加支援 △ 54,000	共通担保(全店) △ 1,900		被災地支援 △ 100
オペスタート	国債買入 + 13,900	貸出増加支援 + 54,700			
(日本)	日銀短観(4Q)		貿易収支(11月)	日銀金融政策決定会合(18日まで)	日銀金融政策決定会合、 終了後に結果を発表・総裁会見 全国CPI(11月)
(海外)	ユーロ圏 鉱工業生産(10月)	米 FOMC(16日まで) 米 ニューヨーク連銀製造業景況指数(12月)	米 FOMC声明発表 パウエル議長記者会見と経済予測 米 小売売上高(11月) ユーロ圏 財務相会合(ユーログループ) ユーロ圏 総合PMI(11月) ユーロ圏 製造業PMI(11月) ユーロ圏 サービス業PMI(11月) 英 CPI(11月)	米 新規失業保険申請件数 (12日終了週) 米 住宅着工件数(11月) 米 ファイナルプライズ連銀製造業景況指数 (12月) ユーロ圏 CPI(11月) 英中銀、政策金利発表	米 経常収支(3Q)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.020
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.030
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.130

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初478兆1,400億円から始まり、その後は週を通して概ね横ばい圏で推移し、476兆8,000億円を越えた。無担保コールON物は、積み期後半においても都銀・地銀の調達意欲は弱まることなく、堅調な地合を継続し、同加重平均金利は△0.032%～△0.028%で推移した。ターム物は1W～2W物を中心に、主に△0.030%～△0.020%の水準で出合が見られた。来週の主な予定は、日銀短観の公表(14日)や日銀金融政策決定会合(17日・18日)などがあり、海外では、FOMC(15日・16日)やユーロ圏CPIの公表(17日)などがある。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.050 ~ 0.000
TDB 3M	△0.120 ~ △0.070
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<C P>

今週の入札発行総額は約9,400億円で、週間償還額(約6,800億円)を上回った。電気機器、不動産業等複数の業態から大型の発行が連日実施され、活況なマーケットとなった。発行残高は先週末の24兆8,172億円から、10日時点で24兆9,955億円に増加した。発行レートは、年越え物が強含みとなり△0.05%台～0%近辺での出合いであった。来週の週間償還額は、約6,700億円程度となっている。20日スタート絡みの発行が見込まれるため、活況な取引を予想する。発行レートは、投資家の運用ニーズが強く、マイナスから0%近辺の出合いと思われる。CP等買入オペ見合いや新型コロナ金融支援オペ等の対象銘柄は、先週同様強いマイナスレートでの出合いを予想する。14日に、CP等買入オペが6,000億円でオファーされる予定となっている。

<TDB>

9日の6M957回債(6/10償還)の入札は、最高落札利回り△0.0861%(前回債△0.0987%)、平均落札利回り△0.0882%(同△0.1027%)となり、入札後△0.093%～△0.09%の出合が見られた。11日の3M958回債(3/22償還)の入札は、最高落札利回り△0.0837%(同△0.0837%)、平均落札利回り△0.0867%(同△0.0889%)となり、入札後△0.088%～△0.085%の出合が見られた。そのほかセカンダリーでは概ね3M物が△0.09%～△0.084%のレンジ、6M物が△0.093%～△0.09%のレンジ、1Y物が△0.145%近辺で取引された。

<レポ>

足許GC取引は週初△0.08%の出合いから始まった。短期買入オペがオファーされた8日の取引は△0.09%台での出合いが中心となったものの、週末には短期3Mの入札もあって、△0.07%台まで上昇した。SC取引は2年401～419回債、5年136～145回債、10年340～360回債、20年169～174回債、30年59～68回債、40年12～13回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。